

誰もいない教室で…

三重県 上野 祐一うえの ゆういち



「誰もいない教室で生徒の名前を呼んでください」

2014年8月、第1回伊勢便教会にお越しになった鍵山先生からいただいたお言葉です。

2009年教師になって、放課後のクラブ活動のあと、教室の戸

締りを確認し、机の整理整頓をしていました。

鍵山先生に教えをいただいていた、誰もいない教室で生徒の呼名を行いました。そのときどきで感じ方はさまざまでしたが、今振り返るとただやっているだけ、相談役に教えていただいたから、何が分かるはずと思っただけで自分でした。

しかし、コロナ禍により、生徒が登校できない日が続きました。今まで当たり前だったことが当たり前でなくなったとき、「これが最後」という生き方を思い出しました。何をするにも「これが最後」だと思っただけで人と接すること、「今、ここ」を大切に生きる生き方があります。

そのころから、誰もいない担任

の教室や、監督をしていた野球部のグラウンドで一日を送ることが多くなり、一人ひとりの生徒の顔が自然と浮かんできました。今までは感じなかった生徒の姿でした。これが「祈る」とか「包み込む」ということだと感じて、鍵山相談役のお言葉の深さが身に沁みましました。それは日々の実践、お掃除を通して教えてくださった生き言葉であります。

この4月から大学に移り、教師を目指す学生と毎日を通しています。自分の役割は、こうした実践を通して身体で感じる生きものを、学生に、そしてその先にいる未来の子どもたちに移していくことだと思っております。尊い学びに感謝です。

(516 003 三重県伊勢市藤里町68番地207)

師匠とともに

宮城県

村上^{むらかみ}

幸宏^{ゆきひろ}



1993年イエローハットでイヤを購入時、待合室で鍵山先生の小冊子を読みました。全部買いたいとお願いすると、譲っていただきました。以降、鍵山先生の本はすべて読んでいます。

22年後の2015年、鍵山教師塾に参加、初めてトイレ掃除をし

ました。白鳥宏明さんに「掃除します」というと、小畑貞雄さんの名前を戴きました。しかし掃除はせず、小畑さんにも連絡しませんでした。

2年が経ち、靖國神社での鍵山教師塾に参加。白鳥さんに「今度こそします」と言い訳したとき、翌日復興ボランティアがあると知り、急ぎよ石巻に向いました。ピンクの帽子にキティちゃんのトレーナーを着た方がいました。「小畑さんですか」と声を掛け、教師であること、そして宮城で掃除をしたいと伝えました。

すると、「学校の先生はまず続かないね。一緒にやった先生で続いた人はいない」と。そして「まず一人から。一人でやらないと力にならない」と続けました。心が

折れた数分後、小畑さんが便器を磨く姿を見て痺れました。思わず師匠！と声が出ました。

「学校に掃除を広めよう。その前に自分だ」と、仙台を美しくする会、多賀城掃除に学ぶ会に参加することになりました。それから5年、小畑師と掃除した回数は200回を越えます。

「掃除を最優先にすると、後はすべて上手くいく」「何をしたらではなく、何を続けたか」師の言葉は重く、深い。

成長は遅いですが、目標は見つかりました。「逃げない、頼らない、諦めない」教師になることです。師との出会いは偶然、しかし今考えると必然。今後も師に学び、掃除を続け、道を歩みます。

(983-0006宮城県仙台市宮城野区白鳥2-15-10)

よろこびを感じる草刈作業

愛知県

古井^{ふるい}

弘二^{ひろじ}



「豊田の街をキレイにする会」古井弘二（前列左）

2014年、私は「豊田掃除に学ぶ会」の山中敦子代表世話人の考案と行動に感銘を受けて、草刈活動を始めました。

豊田市には、豊田市駅から徒歩

20分以内のところに、豊田スタジ

アムとスカイホール豊田(大型体育

館)があり、県内外の中学生や高校

生、さらにコンサートやサッカーの

試合を見に、大勢の方々が来豊さ

れます。

ところが、その沿道脇の各所に、

大人の腰ぐらいの高さの草がたく

さん生えていました。私はそのこ

とを考えるだけで恥ずかしくな

り、毎週土日の早朝、2時間くら

い一人で草刈作業を始めたのです。

その後2016年、山中さんの

後押しで「豊田の街をキレイにし

る会」という会を発足し、毎月第一

日曜日の朝6時から草刈作業をし

ています。

初めのころは10人程度でした

が、今では30人を超える方々で活

動しています。

【草刈作業をして気付いたこと】

1. 歩道の草が伸びていると、ド

ライバーが歩行者に気付くこ

とが遅れる。

2. 中央分離帯の草で横断歩道が

見えにくくなる。

3. 草が茂る箇所にごみがたまる。

4. 除草箇所を見ると、清々しい

気持ちになり、仕事も生活も、

考え方や見方が改善し、張り

合いが出る。

5. 周辺住民や歩行者らに喜んで

いただいて、励みになる。

6. 人に喜んでもらえることを行

なりたいと、強く思ったこと。

これからも「豊田の街をキレイ

にする会」の皆様と、愛する豊田の

街をキレイにしたいと思います。

(4710013 愛知県豊田市高上1丁目6-7)

偉大な師により 数々の奇跡を経験

広島県

竹内 たけうち

光弘 みつひろ



2000年ころ、広島島の暴走族をトイレ掃除で撲滅した話は『トイレ掃除の奇跡』致知出版社)にあるので、鍵山秀三郎先生に関する秘話を紹介します。

日本を美しくする会ができた

1993年、「広島掃除に学ぶ会」発足。発起人の1人の会社社長は、会の運営や道具管理に大変貢献されました。しかし大きな負債を抱えて会社は倒産、家族4人は夜逃げされ、会の仲間もやりようがありませんでした。

1年後、ある合同捜査で警視庁に詰めていたときのことです、突然彼が私に電話してきました。私は、その様子から彼は心中するかもしれないと感じました。そこでクリスチャンの私は、彼の住居近くの教会を探し出し、彼にすぐ行くよう伝えました。

私は鍵山先生に報告しました。先生の動きは素早かった。膨大な身銭を切り、様々なサポートをされたようですが、内容は割愛します。2年後、私の妻らも参加

して彼は洗礼を受け、家族で救われました。同時に、鍵山先生にとっても感謝したのです。

次の話です。県警のある署の後輩が上司のいじめに遭い、「警察官を辞めます」と電話してきました。さあ大変です。事情を聴いて、短気を起こすなど説得しても、らちはあきません。家族で宮古島へ渡りお好み焼き屋をやるといいます。

さすがに私には荷が重く、途方に暮れ、またも広島滞在中の先生に振らせていただきました。先生のサポートは的確でした。あれから20年、宮古島で立派にカレーとパスタのお店を続け繁盛しているといえます。鍵山先生には感謝ばかりであります。

(733-0802 広島県広島市西区三滝本町2-9-14 408)

日本を美しくする会 30周年に思う

東京都

佐倉 さくら

哲之助 てつのおすけ



1961年の㈱ローヤル設立から60年、私たちは鍵山相談役から、前半30年は高度経済成長の歪みへの警鐘を、後半30年はバブル崩壊後の閉塞感打破への活力を授かってきたように思います。

経営者明るく社員の親思う

永続成長企業に共通するのは、

経営者が明るく従業員の親御さんを大切にすることと、教わりました。

親思う心は一つ雇い主新入社員
の未来預る

朝掃除交通安全守る街

朝もやのなか、人々は挨拶を交わしながら商店街を通り、子どもたちは、横断歩道で停まった車に笑顔でお辞儀をして渡ります。道路掃除は、交通安全への願いが込められた活動です。

人知れずお地藏さんにおむす

びが朝もやの中道清めらる

有難や掃除が繋ぐ人の縁

あるとき、不案内な旅先で、ある学校トイレ掃除大会で同班だったご婦人と偶然再会しました。「あーらあの時の…また一緒に緒しましょう」の一言で、旅の不

安は飛び去りました。思い出深い旅になりました。

循環す環境インフラ昔から

日本経済世界を先取り

日本人は衛生意識が高いといわれます。この度の感染症への適切な対応も、手洗い・うがいの習慣のお陰とされています。

江戸時代、し尿を使い都会の台所をまかなったシステムは、現在のSDGsを先取りしています。

掃除道動機はいかに不純でも

きれいになればすべて解決

便器裏磨けば光り財積もる

日本を美しくする会30周年は明治156年、穏やかで心豊かな時代であって欲しいものです。

(2022 東京都西東京市柳沢3-4

新柳沢団地11-101)

お掃除で 気を配れる「感性」を磨く

京都府

秦^{はた}由見子^{ゆみこ}



初めてお掃除に参加したのは、
2016年夏、鞍馬寺での「京都掃
除に学ぶ会」の月例会でした。

最初はトイレを素手で掃除す
ることに躊躇しましたが、気が付
いたら夢中になって便器を磨いて
いました。そして掃除が終わると、
心の中につかえていたものがなく

なったような、清々しい気持ちに
なっていました。

それからは、京都新洗組や全国
大会などにも参加するようにな
り、掃除に学ぶ会の方たちと関わ
る機会が増えていきました。

ある小学校での月例会でのこ
とです。参加者を誘導するため
に校門で立っていると、当時代表
世話人の前田香織さんが、数枚
の落ち葉を拾って「ちょっと、こ
うするだけで全然違うでしょう」
と、声をかけてくださったことが
ありました。たった数枚の落ち葉
を拾っただけで、その場の空気が
変わるのです。そのときに、「ひ
とつ拾えばひとつだけきれいに
なる」という鍵山相談役の言葉を
教えていただきました。

大きな変化は、小さな変化の積

み重ねにあります。相談役と一緒に
お掃除をした経験はありませんが、
掃除に学ぶ会の方たちと過ごす何
気ない瞬間に、さまざまな学びが
ちりばめられていて、背中で語る
姿をたくさん見てきました。皆さ
んがどれだけ多くのことを実践し
てこられたかが、その行動や言葉の
端々から伝わってきます。さらに、
教えてもらった知識は実践しないと
自分の血肉になりません。

掃除の会が魅力的なのは、年
齢や社会的地位などに関わりな
く、参加される方々が謙虚に自分
を磨こうと努力されていることで
す。お掃除を通じて、広い視野を
持ち、小さなことにも気を配れる
感性を磨いていきたいです。

(613 0906 京都府京都市伏見区淀新町680)

何ごとも手抜きをしない

神奈川県

金子 貴一かねこ きいち



懇親会で、私たちは鍵山相談役から学んだ品格ある作法を行なうことを矜持としています。

一つ目は、開宴前にコースターに自分の名前を書き込みます。するとコップの持主が明らかになつて混在しなくなり、宴会場に迷惑

をかけずにすみませす。

二つ目はビールの注ぎ方です。瓶の中味が空になってから、次の瓶を開けます。ビールが無駄になりません。飲み放題では、宴会場の経費節減にもなります。

三つ目は、バイキング形式での料理の取り方です。自分が食べる分だけを取ってきます。他人の分も取ってくると、食べ残しの皿がテーブルに残ります。せつかく人数分を用意しても、これでは料理が足りなくなります。

掃除に学ぶ会の懇親会では、司会者がこのような注意事項を参加者へお願いしてから乾杯に入ります。

2008年、鍵山相談役の生き方・考え方を学ぶ「求根塾」が設立されました。懇親会では、私が

司会に指名されました。司会は、参加者に先の注意事項をアナウンスしてから乾杯します。

2年目ごろのことです。当時年4回開催されていました。私は、毎回同じ注意を案内することに不安を抱き始めていました。掃除の大先輩方を前にして、「そんなこと知ってるよ」という顔に見えてしまうのです。料理の取り方の説明ぐらいカットしても良いだろうと、省略して進行しました。鍵山相談役は即座に私の元へお越しになり、手抜きをしてはならないと仰いました。そして、最初から司会をやり直すようご指導いただきました。

小さなことでも、大事なことを徹底して続ける。これが「凡事徹底」だと学びました。

(22)013 神奈川県横浜市港北区錦が丘26-5

「夢拾い」喜びの13歳

広島県

上野うえの

和浩かずひろ



「平凡な事を非凡に努力する」、
「良樹細根」 この言葉を言い聞
かせて歩んできました。

1995年10月15日、「広島掃
除に学ぶ会」発足。井辻栄輔(快
調)さんのお手伝いが学びの始ま

りです。翌年4月14日、私の住
む東広島市の寺西小学校で例会
を開催し、それ以来10年連続で

続け、兼山先生、竹岡先生、織田
先生の歴代校長先生のご尽力で、
「東広島スタンダード」という「挨拶、返事、言葉使い、履物を揃える」を徹底する標語ができました。

今では市内の全小中学校(50
校)で教育の基本として展開さ
れ、すべての公共施設(220か
所)に掲示されています。ちなみ
に我が家では「履き物を揃える」
に8年かけました。

2005年11月14日、長男貴
弘が通う学校に鍵山秀三郎様が
お越しになり、「校訓にある『強
い意志』は、与えられたルールを
守ることで育てられる」という話
をされました。「このくらいはい

いじゃないか」、とルールを破る
たび意志は弱くなり心が揺れて
いくとのことでした。

そこで私は、長男の学校に「ト
イレ掃除をさせてください」と申
し出て、これを自分のルールに
して卒業まで6年間続けました。
次男、三男が通う保育所、小学
校、中学校、高校のトイレも磨か
せていただきました。

これらの経験が、2010年
7月3日スタートの「夢拾い」に
つながります。「ゴミではなく夢
を拾う」、と3人で始めた活動は、
4時45分の早朝にもかかわらず、
子どもさんも参加されるようにな
り、延べ9千名に近づきまし
た。支部は全国58か所に広がり、
今年は13歳です。

(739-0007)広島県東広島市西条土与丸3-1-15